3） 植栽及び景観

① 平原エリアの植栽現況

・大芝生広場の整備済範囲の芝生以外は、粗放農地（草原）及びかつての防風林であったカシワ、エゴノキ、ハンノキ、マテバシイ等の雑木類やヒノキ等の大径木が点在している。
・一部の農地は営農を続けている。
・旧農地の一部は、サクラの圃場として利用されている。
・アプローチ道路の整備に伴い、整備に影響のある範囲の既存林を順次、伐採･整地している。
・手もみ茶保存会館の茶畑は、継続して栽培している。

② 駐車場エリアの植栽現況

・第１北駐車場の整備予定地の内、アクセス道路と旧日本平ホテル駐車場の間は、粗放農地とコナラを主体とする落葉広葉樹やスギ・ヒノキ、ハゼノキ等陽性亜高木が樹林を形成しており、全体的にアズマネザサや竹が密生し、景観的な阻害要因になっている。
・第１南駐車場の整備予定地にある旧調整池の外周は、サクラを主とした植栽地となっている他、県駐車場外周にはサクラ、カイズカイブキ、イチョウ等を高木層とし、その間にヒサカキやツバキ等の中木類が密生しており、景観の阻害要因となっている。

③ ビジターエリアの植栽現況

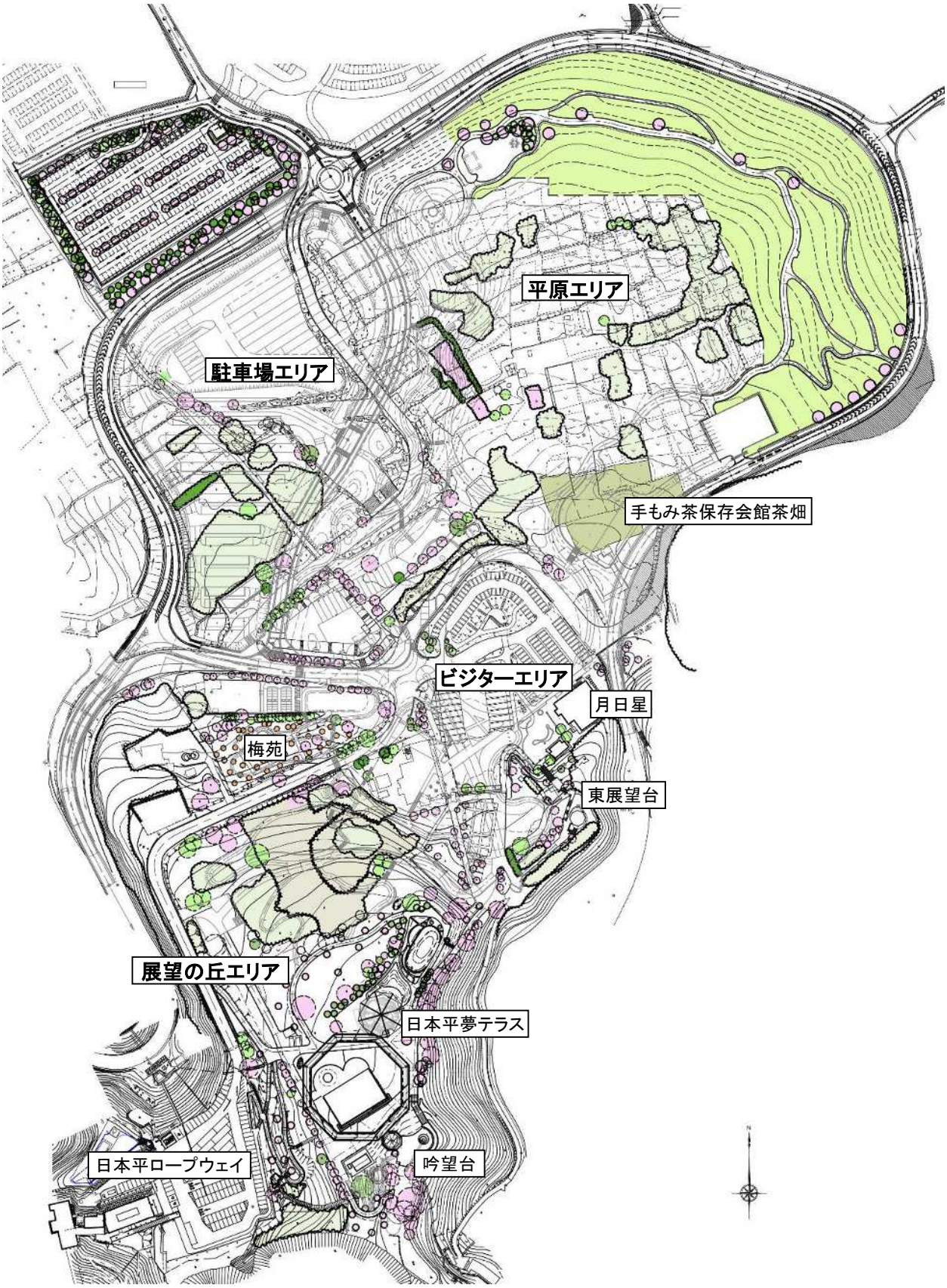
・ビジターエリアの現況植栽は、県駐車場から山頂部への斜路下までの範囲の舗装面が多く、植栽桝等の植栽木に限られる。
・その内の上流側は、花壇やサクラが疎林状に植栽されている。
・東展望台周辺から月日星や県トイレに下る斜面地は、サクラやモチノキ、ユズリハ等の常緑やコナラ等の雑木類がまとまった樹林を形成している。
・川崎屋のバックヤード側にイチョウやヒマラヤスギ等の大径木が点在している他、展望の丘（山頂）エリアの斜面地には、竹が密生している。

④ 展望の丘エリアの植栽現況

・展望の丘エリアの内、日本平夢テラス周辺のエリアは、整備が概ね完了しており植栽設計に従って植栽が行われている。
・吟望台からビジターエリアに至る斜路沿いの稜線にはサクラの大径木が多く残っており、本公園の特徴的な景観のひとつとなっている。
・展望の丘以北の斜面地は、竹やアズマネザサが密生し、その間にコナラやエノキ等の雑木類やサクラの大径木が点在し、特に日本平ロープウェイへのアプローチ道路沿いには、サクラの大径木が点在している。
・展望の丘斜面地の最下段は梅苑として利用されており、更に下段の県駐車場の外周には、ケヤキやイチョウ、サクラ等が列植されている。

未着手部の植栽現況は、十分な管理が為されていないため、全体的に竹やアズマネザサ、常緑中木類が密生する状態にある。整備にあたっては、これらを伐採した後、高木類の生育状況を見て景観形成に寄与する樹木を選別することが望ましい。

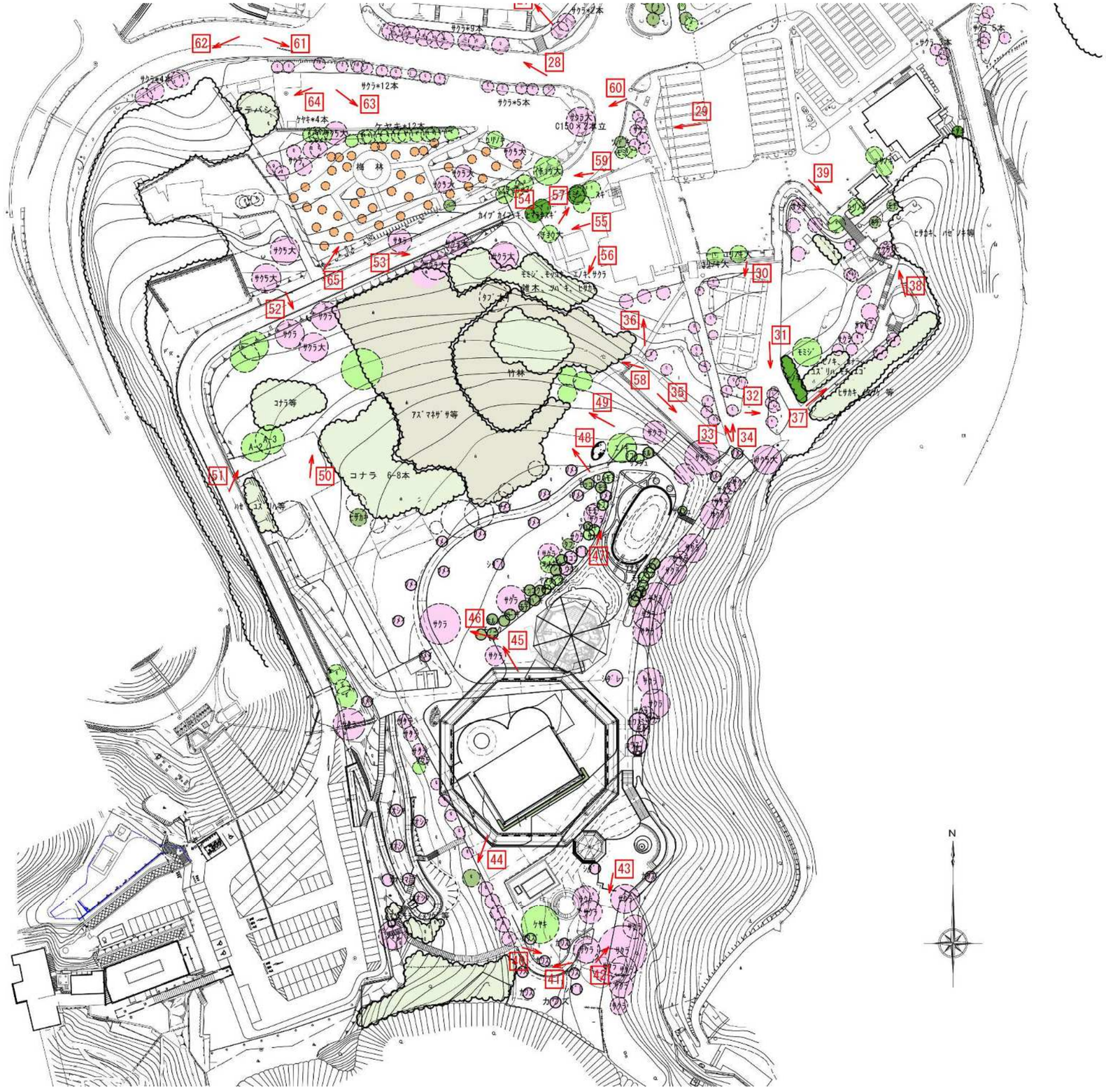
図．植栽現況図


平原エリア
駐車場エリア
手もみ茶保存会館茶畑
ビジターエリア
月日星
梅苑
東展望台
展望の丘エリア
日本平夢テラス
日本平ロープウェイ
吟望台

■植栽現況調査図（北側）


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
61
62
手もみ茶保存会館茶畑
竹林
N

■植栽現況調査図（南側）



62
61
28
60
29
64
63
59
39
54
57
55
56
53
65
52
30
38
36
31
58
35
32
37
49
48
33
34
51
50
47
46
45
44
43
41
42
梅林
竹林
コナラ等
コナラ 6-8本
N

■植栽現況調査写真

No1:造成後の非被覆地に繁茂する高径草本類	NO2:造成後の非被覆地に出現したススキ群落	No3:大芝生広場北側（東方を望む）	No4:アプローチ道路（施工中）
			
No5:アプローチ道路交差点部	No6:アプローチ道路奥の既存林	No7:アプローチ道路造成地に繁茂する草本類	No8:アプローチ道路造成に伴う既存木の伐採伐根
			
No9:未整備区域内の既存林	No10:未整備区域内の既存林	No11:未整備区域内の農地	No12:サクラの圃場
			

No13:サクラの圃場	NO14:サクラの圃場	No15:旧日本平ホテル駐車場外周部の樹林	No16:東海道遊歩道沿いの緑地。竹やアズマネザサが密生
			
No17:東海道自然遊歩道沿いの緑地。竹やアズマネザサが密生	No18:東海道自然遊歩道沿い緑地内のハゼの大木	No19:アクセス道路と東海道自然遊歩道との間のまとまった樹林地	No20:アクセス道路と東海道自然遊歩道との間のまとまった樹林地
			
No21:アクセス道路と東海道自然遊歩道との間のまとまった樹林地	No22:県駐車場外周（旧調整池内）の樹林地。景観を阻害	No23:県駐車場外周（旧調整池内）の樹林地。景観を阻害	
			

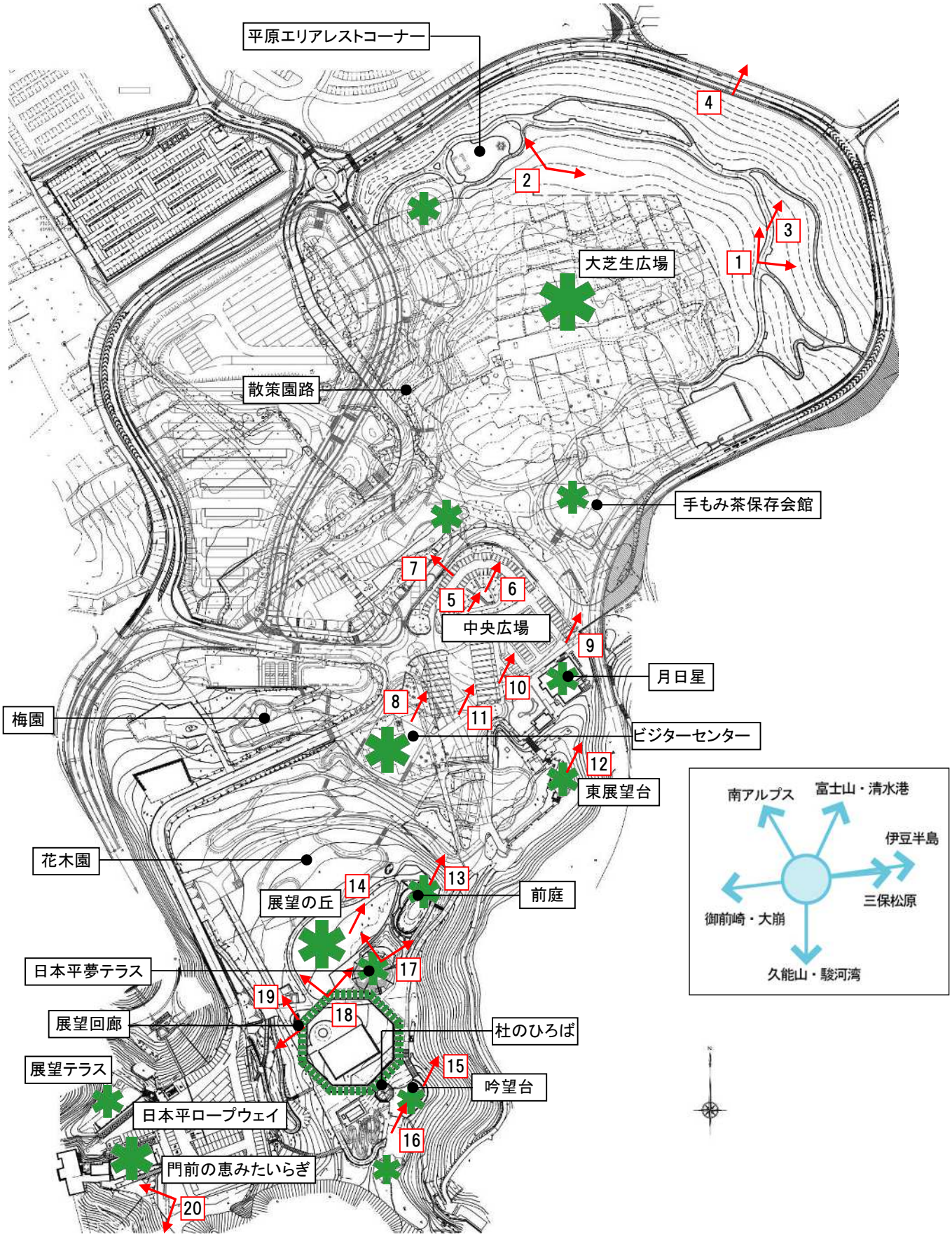
No24:旧調整池内のウメ植栽	NO25:旧調整池内のサクラ等植栽地。密生しており景観を阻害		No26:旧調整池内のサクラ大木
			
No27:旧調整池内。外周土手はサクラを主とする並木	No28:旧調整池外周土手のサクラ並木	No29:県バス駐車場裏のサクラを主とした植栽地	No30:夢テラス方面に向かう園路入口の花壇
			
No31:夢テラス方面に向かう園路交差部。左ヒノキ列植、中央サクラ大木	No32:夢テラス方面に向かう園路交差部のサクラの植栽地	No33:夢テラス方面に向かう園路沿いのサクラ列植	No34:夢テラス方面に向かう園路の植栽地
			

5:展望の丘エリア斜面下の空地。奥サクラ大木	NO36:川崎屋裏手のサクラ	NO37:東展望台園路　ヒサカキ、ヒノキ、コナラ等	No38:東展望台下のサクラ大木
			
No39:夢テラス方面に向かう園路入口のスロープ裏のサクラを主とした樹林	No40:吟望台斜路内側の植栽地	No41:吟望台斜路	No42:吟望台芝生地のサクラ大木
			
No43:吟望台。駿河湾の方向	No44:日本平ロープウェイ側斜面地内のまとまった樹林	No45:展望の丘。奥未整備区域のアズマネザサの群落	No46:展望の丘内のサクラ大木
			

No47:前庭散策路路傍の花壇	NO48:展望の丘エリア未整備区域内の竹林	NO49: 展望の丘エリア未整備区域内の樹林。コナラ、サクラ等。ササ密生	No50: 展望の丘エリア未整備区域内の樹林（仮設管理用通路沿い）
			
No51:管理用通路入口付近のタブノキ大木	No52: 展望の丘エリア斜面地エッジのサクラ大木	No53: 展望の丘エリア斜面地エッジのタブノキ、サクラの大木	No54: 川崎屋バックヤードから見た展望の丘エリアの竹林と雑木類
			
No55:川崎屋バックヤード内のイチョウ大木他	No56:川崎屋裏。展望の丘エリアの竹、タブノキ、ツバキ等	No57:川崎屋北側アプローチ道路沿いのスギ、モミジ	No58: 展望の丘エリア未整備区域内の竹林
			

No59:日本平ロープウェイへのアプローチ道路沿いのイチョウ大木列植	NO60:日本平ロープウェイへのアプローチ道路クランク部のサクラ大木	NO61:市道池田日本平線沿いのサクラ並木（県駐車場側）	No62:アクセス道路公園側のまとまった樹林
			
No63:梅園と県駐車場中間部のケヤキ大木列植	No64:梅園下県駐車場奥のまとまった樹林	No65:梅園	
			

■景観調査図


平原エリアレストコーナー
大芝生広場
散策園路
手もみ茶保存会館
中央広場
月日星
梅園
ビジターセンター
東展望台
花木園
展望の丘
前庭
日本平夢テラス
展望回廊
杜のひろば
展望テラス
吟望台
日本平ロープウェイ
門前の恵みたいらぎ
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
南アルプス
富士山・清水港
伊豆半島
三保松原
御前崎・大崩
久能山・駿河湾

■景観調査写真

No1:大芝生広場北側からの富士山から清水港、伊豆半島に至るパノラマ景



No2:大芝生広場西側からのパノラマ景



No3:大芝生広場北側園路からの富士山の景	No4:アクセス道路からの茶畑と富士山の景
	
No5:日本平石碑広場からの富士山の景	No6:日本平石碑広場からの富士山の景
	

No7:日本平石碑広場からの南アルプスの山並みの景	No8:川崎屋からの富士山の景
	
No9:県駐車場北端からの富士山の景	No10:県駐車場南端からの富士山の景
	

No11:県バス駐車場からの富士山の景



No12:東展望台からの清水港と富士山の景



No13:日本平夢テラス前庭北端からの富士山の景





No14:展望の丘エリアからの富士山の景	No15:吟望台からの富士山の景　手前カワズザクラ
	
No16:吟望台からの景	
	

No17:日本平夢テラス（展望施設）からの富士山を中心としたパノラマ景



No18:日本平夢テラス（展望回廊）からの南アルプス方向のパノラマ景



No19:日本平夢テラス（展望回廊）からの静岡市街地から駿河湾のパノラマ景



No20:日本平ロープウェイ駐車場からの久能山、駿河湾の景

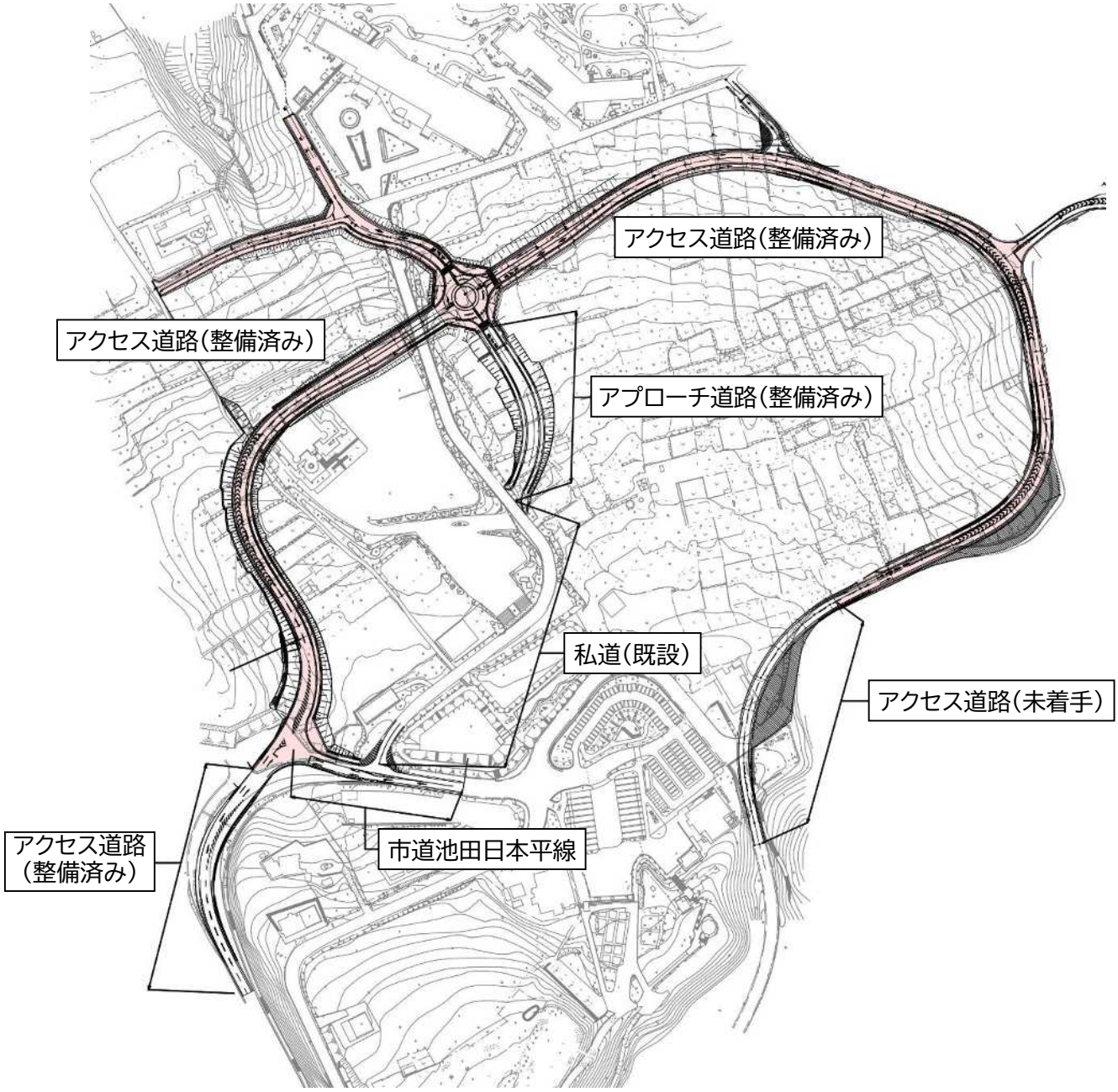


４） アクセス道路等

日本平公園では、2012（平成 24）年度より順次アクセス道路（旧パークウェイ）の整備を行っており、2024（令和６）年度末における整備済み箇所及び今後の整備予定は下図のとおりである。

内、未着手で当初設計から変更になった市道北矢部日本平線の区間については、将来の公園計画の園路交差位置を考慮し計画されており、終点側から段階的に整備が進み No.15 付近まで整備が完了している。今後、アクセス道路の整備が進むと、市道池田日本平線に接続することとなり、交通を安全に処理する必要が生じるが、現在の園路計画では確保することが困難な状況となるため、警察協議を経て No.7 付近で計画されていたアクセス道路に交差する園路計画を、市道池田日本平線の現道を活用した No.8+4 付近に変更し、これに伴いアクセス道路の縦断計画を変更した。

図．アクセス道路現況及び計画図



５） 雨水排水施設

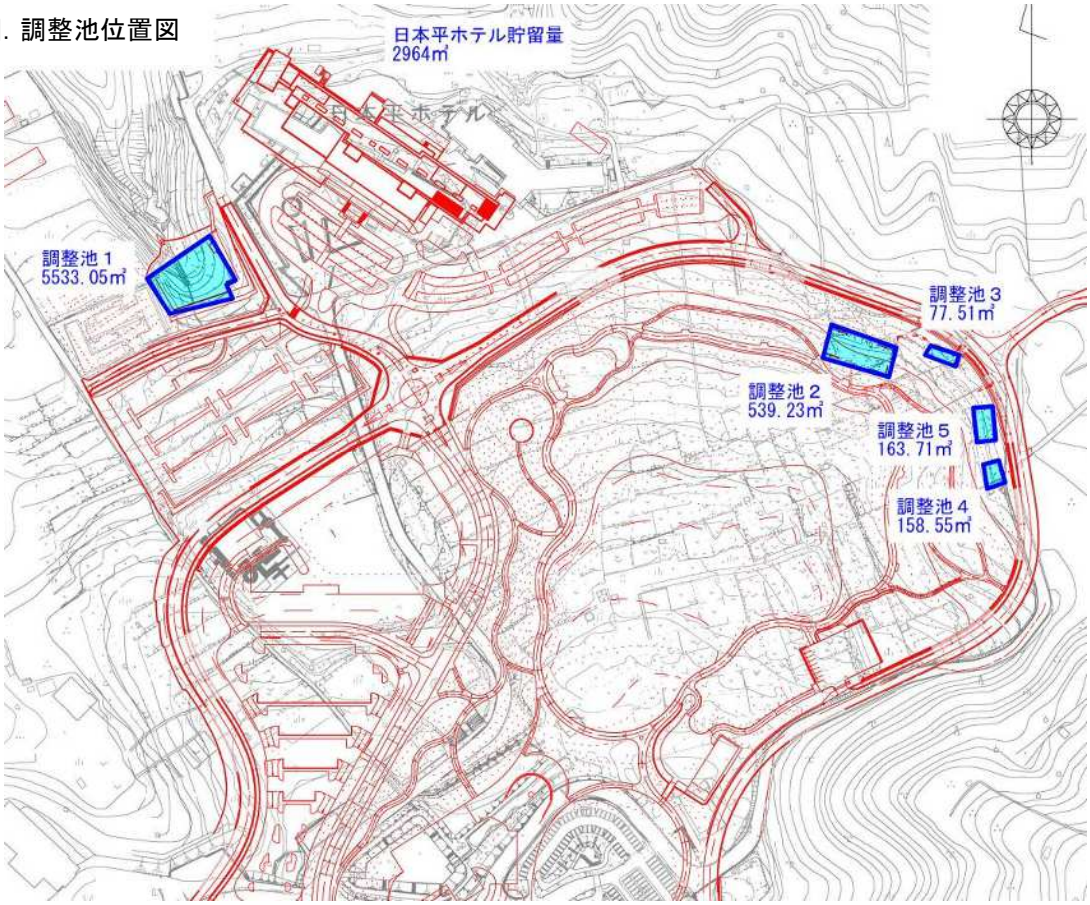
日本平公園では施設整備に先立ち、これまでに５か所の調整池が整備済みである。各々の調整池は、公園内雨水を集水し、各流域河川に放流する。

◆調整池１　　→谷津沢川
◆調整池２，３→北矢部柄沢
◆調整池４，５→新川

図. 流域図



図. 調整池位置図



６） 電気設備計画

①照明計画

本計画では、富士山をはじめとする四周の風景を最も重要な資源として位置付け、その眺望を本公園での活動の中心に据えている。そのため、これら風景をより魅力的に見せていくための視点場や中近景の環境形成を図るものとしている。また、特に清水港や静岡市街地の夜景も本公園の大きな魅力のひとつであり、眺望を阻害するポール照明灯や、夜景を損ねる過度の照明は、極力、回避することが望まれる。

照明計画については、山頂部における施設整備が進み、これまであまり関心を持たれていなかった夜間利用についても期待が高まりつつあることから、日本平公園の夜間の魅力向上を図るとともに適切な情報発信を行うことにより、来訪者の増加につなげることが期待できる。そこで、本計画は、日本平公園の夜の魅力や楽しみ方を発信し、より多くの来訪者を集め、交流人口の増加につなげるための方策を立案することを目的とする。

また、夜間来訪者を駐車場から夜景眺望地点まで安全に誘導し、夜景観賞を楽しんでいただくことであるという前提に立ち、以下の各点に留意した整備を行う。

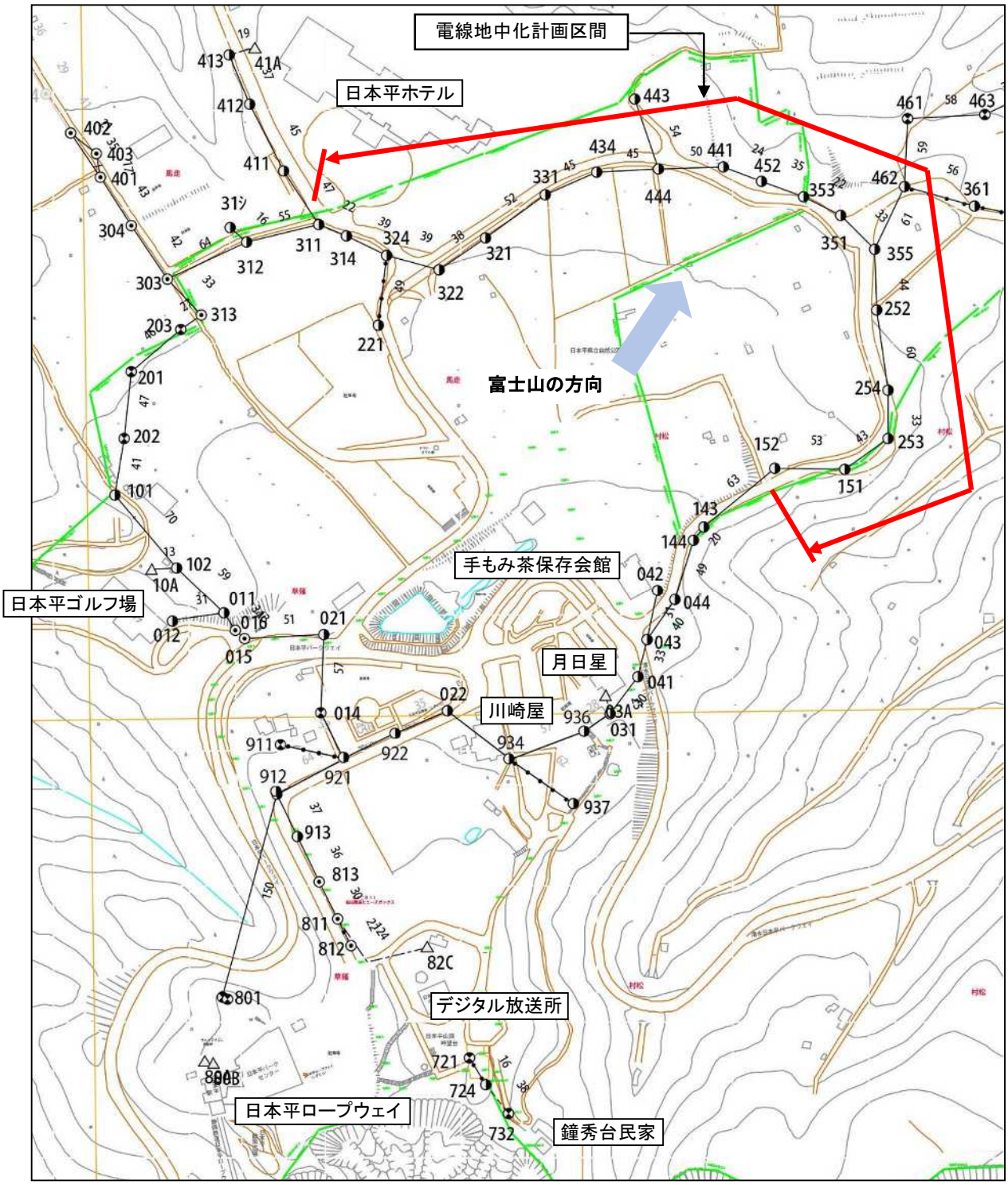
○全体的に照明設備の照度設定を低くし、来訪者を暗順応させることで、夜景や星空を楽しめる環境を創出する。この観点から、都市公園における照度基準は必ずしも適用しない。
○誘導園路では、昼夜を問わず視界の妨げとならないよう腰高程度の誘導灯とし、眩しさを抑えた機器を選定する。
○平原エリアは、山頂シンボル施設から富士山を望む前景にあたることに配慮し、昼夜とも目立ちにくい照明施設を設置する。
○展望地点（吟望台、日本平夢テラス（展望施設)、日本平夢テラス（展望回廊）からの夜景眺望の妨げとならないよう、光源が直接目に入りにくい照明設備を設置する。

（以上、「夜間利用計画（2019（平成 31）年 5 月　静岡県・静岡市)」より）

②都市設備

公園区域での電気設備は、中部電力により次図に示す経路で配電されているが、公園アクセス道路の整備に伴い順次、電柱・架線の移設が進められている。また、2023（令和 5）年度より富士山の景観に配慮し、次図の公園外周部の概ね 152 から 311 の区間（本計画では手もみ茶保存会館駐車場からラウンドアバウト交差点の区間）の電線地中化を予定している。

図．中電本線現況図


電線地中化計画区間
日本平ホテル
富士山の方向
手もみ茶保存会館
日本平ゴルフ場
月日星
川崎屋
デジタル放送所
日本平ロープウェイ
鐘秀台民家